

ぎなかつた。その後昭和11・10 鉄道総局を解消、これにかわる満鉄の機関である鉄道総局を奉天に設け前者を包含した。これに先立ち昭和9年満鉄職員と総局採用職員との身分関係を、一元的に統一し、従来の総局職員は満鉄に転籍した。かくて機構と職員は一元化し、各種業務もまた一体化したが、会計・経理だけはしばらく従来どおり委託独立計算勘定を置いていた。しかしこれも昭和15・4・1以降は事業費を除くほか、流動資産ならびに負債、および営業収支等は満鉄の経理に一元的に処理されることとなり。完全なる経営の一本化が見られるに至った。

(9) 北鮮鉄道の返還

昭和8・9 北鮮国有鉄道の経営が満鉄に委託されたが、同13年以來一部朝鮮総督府に返還された。すなわち西部線上三峰・清津間、会寧・新鶏林間および清津港終端施設を朝鮮総督府に返還、同時に雄基・上三峰間および雄基港施設は委託契約を解約して、昭和15・7・1以降満鉄へ貸付けることに改めた。

以上のように満鉄は創業以來約40年近くにわたり、苦心経営交通事業を根幹として国策の遂行あるいは経済の開発に貢献するかわら、対外国防と満州国内外産業開発上課せられた重大使命を果たしてきたが、昭和20・8・15 太平洋戦争の結果、中国政府およびソ連軍に接収され、消滅してしまった。

歴代総裁

総 裁	後藤新平	明治 39・11・13	～明治 41・7・14
" 事務取扱	中村是公	41・7・14	
総 裁	"	41・12・19	～大正 2・12・18
"	野村龍太郎	大正 2・12・19	～ 3・7・15
"	中村雄次郎	3・7・15	～ 6・7・31
理 事 長	国沢新兵衛	6・7・31	～ 8・4・12
社 長	野村龍太郎	8・4・12	～ 10・5・31
"	早川千吉郎	10・5・31	～ 11・10・14
" 事務取扱	島 安次郎	11・10・14	～ 11・10・24
社 長	川村竹治	11・10・24	～ 13・6・22
"	安広伴一郎	13・6・22	～昭和 2・7・19
"	山本条太郎	昭和 2・7・19	～ 4・6・21
総 裁	"	4・6・21	～ 4・8・14
"	仙石 貢	4・8・14	～ 6・6・13
"	内田康哉	6・6・13	～ 7・7・26
"	林 博太郎	7・7・26	～ 10・8・2
"	松岡洋右	10・8・2	～ 14・3・24
"	大村卓一	14・3・24	～ 18・7・14
"	小日山直登	18・7・14	～ 20・5
"	山崎元幹	20・5	

事業概況 1 鉄道統計 (1) 総 況

種 別	昭和15年度	昭和16年度
平均営業キロ	10,595km	11,066km
年度末事業費(千円)	1,881,394	2,237,071
収 入		
鉄道収入(〃)	609,979	723,433
鉄道経費(〃)	465,035	572,844
支 損 益	144,944	150,589
輸 送		
輸送旅客(千人)	97,822	103,777
客車収入(千円)	194,843	223,381
輸送貨物(千t)	63,387	73,444
貨車収入(千円)	318,876	391,354
一 費		
事業費(千円)	178	202
鉄道収入(〃)	58	65
鉄道経費(〃)	44	52

平均	損 益 (千円)	14	13
	輸送旅客(千人)	1,002	1,003
	輸送貨物(千t)	1,944	2,337
	客車収入(千円)	18	20
	貨車収入(〃)	30	35

(2) 鉄道事業費

種 別	合 計	社 線	国 線	北 鮮 線
	千円	千円	千円	千円
昭和16年度計	2,237,071	569,015	1,629,661	38,395
建設事務費	156,866	—	156,866	—
用地事務所	309,125	144,129	161,953	3,044
線路	8,423	—	8,423	—
停車場	791,232	157,768	626,061	7,403
車庫	126,980	31,015	94,872	1,094
通信設備	31,163	9,004	21,631	528
信号設備	80,931	14,355	65,886	689
電力設備	22,871	11,523	11,152	196
車庫倉庫	9,303	3,568	5,248	487
工場	423,376	113,654	309,658	65
住宅	2,471	2,468	3	—
旅館	41,515	7,049	34,466	—
病院	135,892	40,354	95,537	—
山林	6,445	4,389	2,056	—
工務設備	19,662	12,501	6,590	571
雑設備	—	—	—	—
雑設備	788	198	584	6
昭和16年度末1キロ平均投資額	47,249	17,042	28,673	1,534
	202.2	461.1	168.8	184.6

(3) 鉄道営業収入

種 別	昭和16年度
合計(千円)	723,433
客車収入	223,381
旅客運賃	210,044
手小荷物運賃	12,815
入場料金	522
食堂車収入	16,841
貨車収入	391,354
社内貨物運賃	34,772
社外車扱運賃	314,324
社外小口扱運賃	42,257
旅館収入	5,887
医院収入	12,055
林業収入	16,744
殖産収入	1,526
諸口収入	55,646

(4) 鉄道営業経費

種 別	昭和16年度
合計(千円)	572,844
鉄道総局費	47,151
鉄道局費	34,747
停車場費	72,427
列車区費	14,738
機関区費	131,279
検車区費	25,624
工務区費	86,396
電気区費	20,725
食堂車費	15,244
旅館費	5,513
医院費	12,977